

SR 通信 2022 年 12 月号 大柳 column(第 85 号)

いつもお世話になっております。さくらマネジメントオフィス大柳です。

本コラムを楽しみにしてくださっている皆さまには久しぶりとなり申し訳ございません。コロナ禍における様々なご意見、ご事情があるとは存じますが、日頃お伝えできない事務所通信を本コラムにてお送りできればと思いますのでご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



新型コロナ感染拡大から 3 回目の冬を迎えます。With コロナ時代の新たな生活様式にも慣れ、様々な活動、チャレンジをされた方も少なくないかと思ひます。第 8 波を迎え予断を許さない状態も続いています。今年は対面でのコミュニケーションを取る機会が増えてきたこともあり、コロナ禍で控えていた忘年会・新年会を開催する企業が増えているようです。昨年より約 1 割増え、4 割近い企業が開催する見込みとの某リサーチ結果に、ネット上では「昭和の悪い習慣がなくなったと思ったのに」、「いや、忘年会にもメリットがある」と賛否の声が挙がっています。ニュースのコメント欄では賛否両論の意見が寄せられ、下記のような意見が目を引きました。

「まだ忘年会するのだとびっくりした。ウチの会社でも最近はどうやっていないなあ」

「もうそんな時代ではないと思います。私の会社ではコロナ前から飲み会はなく、就業時間にランチミーティングを行っています。半年に 1 回のペースで部署ごとに就業時間内に集まり、うなぎや懐石料理など高級なものを会社の経費で食べに行きます。日本人、外国人、正社員、派遣、既婚、未婚など多種多様な生活を抱えている人たちが一同に時間を取れるときは就業時間しかありません。(中略) 個人の自由と権利を尊重してくれる今の会社で良かったと思っています」

また、忘年会の元幹事からも、「忘年会反対」の声が挙がっていました。

「職場の幹事役をやっていた経験がありますが、会社の忘年会等はやらないという選択肢も、参加しないという選択肢もないような感じでした。しかし、それは管理職たちに『忘新年会は職場の懇親や活性化に効果大だからぜひ必要だ』といった理念や信念があったわけではなく、単に長年の慣習でやっていただけ。それが、コロナ禍をきっかけにやらないでいたら『全然問題ないじゃん』と気がついたわけです。これは書類に必ず判子を押す慣習が、無くしてみたら何も問題なかったのと同じです」

飲み会を嫌っていた世代が今、管理職になっていることも反対意見の要因にあるようです。一方、業種にもよりますが「忘年会は必要だ」という意見もあります。

「営業職という前提だが、接待とか、若手でも絶対そういう場面は出てくるので、その予行演習という意味では、忘年会の企画とか、下調べしてこの店がいいとか勉強するにはもってこいの場面なのだ。(中略) だからわざと若手に幹事をやらせることもある。そこで成功したとか、失敗したとかはどうでもよくて、場数を踏んだという経験値が必ず生きる場面がある」

「年に数回程度ならコミュニケーションの場もあっていいと思う。同じ部署でも仕事だけではまず接点がない人もいる。またこういう場で話してみて、相手の意外な一面を知ることにも出来るので決して無駄ではない。」

「人それぞれですね。私は学生時代に全く飲めなかったのですが、体育会系の会社に入社し、休みも含めて週 4 以上のペースでいろんな部署の先輩について行きました。正直辛かったのですが、いろんな方と関係ができ、仕事もしやすくなったことは真実です。結果、今は会社の歴代最年少で海外子会社の



社長をやっています」

「飲み会という場を企画するのもけっこう様々な配慮があるので幹事は苦労します。幹事を経験してみないとわからないこともあるし、みんな考えが違うのでほんとう難しかった。(中略) 内向的な自分に社内で友人ができたことが何よりも嬉しかった。東京で一人ぼっちだったこともあって職場のみんなは優しくかった。人付き合いは面倒だけど、得るものも多いし、人生において無駄な経験はひとつもないことを自分は学びました」

様々な意見がありますが、いい悪いではなく、コロナ禍により価値観が多様化した現れと感じています。忘年会・新年会を行う目的は何か、それに応じて会社の文化も変わっていくでしょう。

皆さんの会社ではどんな意見がありましたか？

《本年のさくらマネジメントオフィスの様子》

毎月のオフィスの様子をお伝えできませんでしたので、所内の一年を振り返ります。

本年は組織体制を見直し、助成金、労務監査、人事評価、FC 起業家サポート、IPO 支援、年金相談(障害・遺族)、人事労務のデジタル化支援等、お客様のニーズにあわせたサービスに展開し、新たな分野での可能性も見出した一年でした。また採用活動も活発に行いこれから学ぶ意欲やチャレンジ精神があるスタッフを積極的に採用しました。

(事務所のトピック)

- ・ 1 月 グループウェアを導入し、社内情報共有や申請の効率化等を図りました。とくに個人情報管理ルールをいかにグループウェアに落とし込めるかが課題でした。
- ・ 2 月 在宅勤務や家庭の事情、休暇等によりお客様にご迷惑がかからないよう、担当不在時の対応について所内で検討、体制を見直しました。
- ・ 3 月 おかげさまで業績が好調のためスタッフ全員に決算賞与を支給しました。皆のひたむきな努力のおかげで事務所に少しずつ実がなり桜が咲いています。来期もスタッフそれぞれの成長と貢献に応えていきたいと考えています。
- ・ 5 月 経営計画発表会で業績とその要因、計画、目標、そして私の思いを伝えました。
- ・ 7 月 社労士事務所で一番の繁忙期といわれる労働保険、社会保険の申告時期でしたが、昨年よりスムーズに終わりました。お疲れ様でした。
- ・ 8 月～10 月 2 年に 1 回のプライバシーマークの JIPTEC 審査、労働保険事務組合の労働局監査、新システム導入がありました。総務は本当に気が抜けない日々でしたね。お疲れ様でした。
- ・ 11 月 今年も恒例の熊手をいただきにスタッフと花園神社の酉の市に行ってまいりました。購入した熊手に威勢良く掛け声をかけていただき身が引き締まる思いでした。

※11 月の後半は数名の退職そして入社が立て続けに発生し、急な担当変更を行わなければなりません。お客様には多大なご迷惑をおかけしましたことをこの場を借りて心よりお詫び申し上げます。

- ・ 12 月 今年もコロナ感染予防対策のため夜の忘年会は中止としましたが、新しいメンバーも加わったので昨年に続き事務所内でクリスマス会と合わせてランチ会としました。思い込めた私からのクリスマスプレゼント、喜んでくれるいいなと思っています(これを執筆している時点ではまだ渡していないので、、、)。

今年も残りあとわずか、恒例の大掃除、お蕎麦で今年を締めくくる予定です。

皆のおかげで今年も乗り切れました。本当にありがとう、そしてお疲れ様でした。



《今月のコラム》

お忙しくコラムを読めない方のために、毎回コラムの内容をまとめてお伝えしておりますが、今回は当事務所で作成した来年度の法改正情報やセミナー案内チラシを同封させていただきますので是非ご覧ください。

- ・最近の主な法改正一覧
- ・60 時間超割増賃金のお知らせ
- ・ハラスメント対策セミナー

※ご不明点ございましたら弊社担当までお気軽にお問い合わせください。

今月のことば

「子曰く、徳は弧ならず、必ず隣あり」（里仁第四ノ二十五）

これは正しい道を実践し続けていれば孤独を恐れることなんかない。いずれ同じ志を持つ人々が集まってくれるはずだから、と言っています。

今の日本社会は他人に無理やりでも合わせないと仲間はずれにされてしまうという風潮があります。もしも一人になってしまったときには孤独に押しつぶされてしまいそうになってしまうかもしれません。しかし、正しい道を歩んできた人物には、必ずわかってくれる人がいると孔子は言っています。孤独を恐れるな、正しい道を実践し、誠をもって人と接すれば孤立することは絶対にないと言い切っているのです。短い言葉ですが、とても勇気づけられる力強い言葉だと思いました。

友達や仲間とは面白いもので、だいたい同じような考えを持ってる人間が集まります。信を持つ者には、信を持つ者が集まり、人を利用しようとする人の周りには、人を利用とする人しか集まりません。私は友だち付き合いでも仕事の付き合いでも、あなたのためならと言って行動してくれる人がどれだけいるかが財産ではないかと考えています。そのためには、恐れることなく「徳」を実践して、まっすぐに生きていくことが大切なのではないのでしょうか。

さて、お休みしていたためコラムも長くなりましたが、本年最後のご挨拶をさせていただきます。

本年もさくらマネジメントオフィスはお客様とスタッフに支えられ、おかげさまで貴重な経験を積みませていただき、また一つ成長することができました。

これからもお客様に愛され共に成長し続ける事務所を築いてまいりたいと考えております。

そしてお客様の経営、その中でもとくに重要な「人」に関わる問題、課題等の解決し、お客様一人ひとりのご要望に応えるために全力を尽くす所存です。

来年も引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとって来年がよりよい一年となりますように。良い年をお迎えください。

大柳コラム特別番外編

①



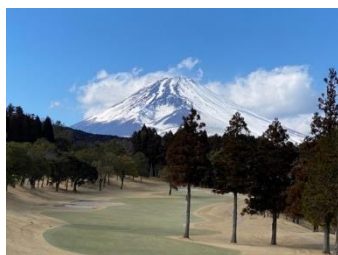
②



③



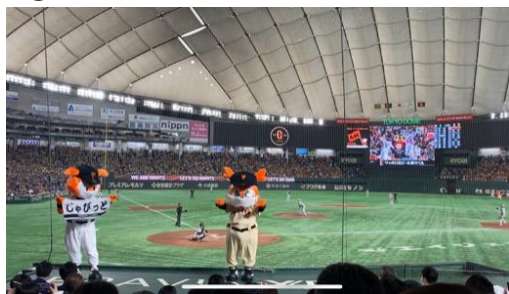
④



⑥



⑤



⑦



今年感動した景色、思い出深かったこと

- ①前日雨の中涸沢カールまで登り一泊、翌日は晴天に恵まれ上高地を散策。河童橋から眺める景色は何回見ても感動です。
- ②霧ヶ峰ハイキングの途中の山小屋でのんびりカフェ。癒しのひとときです。
- ③今年初めて訪れた千葉にあるキングフィールズゴルフクラブ、広々としていながらも戦略性に富み、ゆったりとプレイができる素晴らしいコースでした。
- ④富士山の景色が素晴らしい裾野カンツリー倶楽部、どのホールからも雄大な富士を拝める毎年訪れたいゴルフ場です。
- ⑤数年ぶりの野球観戦。リアルのスポーツ観戦に熱が入りました。
- ⑥国立西洋美術館で行われたピカソ展で一枚。時代の変化とともにピカソの描く絵の変化が見られ見応えがありました。とくにこの作品の女性の瞳が魅力的で躍動感があり、素晴らしさにしばらく動けなくなるくらいでした。
- ⑦実家（鮎屋）の特製ちらしです。ネタのボリュームと鮮度、何度食べても飽きることない美味しさ、両親に心から感謝する瞬間です。

今年は山やゴルフを楽しむ以外にも芸術や音楽にも触れ、心の栄養をたくさん補いました。来年も様々なことに興味関心を持ち続けたいです。